

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	教育学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) <small>時間(単位)</small>
対象学年	1年	学期	前期 火曜1限	教室名	
担当教員	古茂田貴子				
実務経験と その関連資格	大阪城南女子短期大学で「教育原理」「幼児教育課程論」を3年間教えた。四條畷学園短期大学で「教育課程論」を3年間教えた。幼稚園専修免許取得。関西教育学会、日本保育学会、日本発達心理学会等の正会員として研究に携わっている。				
《授業科目における学習内容》 教育についての思想・文化・社会環境等の学びを基本とし、学習者の教育に対する視点や考えを再考し、深めます。また、国内外の様々な教育環境を紹介することで、日本の教育環境について考える機会を持ち、学びの場を持つことの大切さや教育の質の重要性などについての理解へとつなげます。					
《成績評価の方法と基準》 全授業終了後にテストを行います。また、授業内で視聴覚教材を用いた際は、その内容についての小レポートを授業内で書いてもらいます。評価の割合は、テスト及び出席態度について8:2を目安にしています。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 講義内容に応じて適宜プリントや資料を配布します。					
《授業外における学習方法》 授業内容をしっかり理解し、自分なりの知識にしていく為に、必ず前回の授業内容を復習しておいてください。					
《履修に当たっての留意点》 「教育学」は、社会に生きるすべての人に関わる学問です。積極的に授業に参加し、学びを深めて頂きたいと思います。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	教育学について概要を知る。	視聴覚教材・資料	予習の必要なし	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	授業を通じての到達目標	人間と他の動物との違いについて考察し、それを通して人間にとって教育が重要であることを理解する。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	人間と教育			
第3回	授業を通じての到達目標	人間の長い期間にわたる教育活動において、反抗期や思春期の重要性を理解し、その時期に相応しい教育について学ぶ。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	発達と教育・思春期の重要性について			
第4回	授業を通じての到達目標	義務教育の意義について再考し、義務教育の年限について考え、義務教育の重要性について学ぶ。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	義務教育について			
第5回	授業を通じての到達目標	教育の指針となる「子ども観」について、その変遷を学ぶ、学生自身の子ども観を意識し深める。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。	
	各コマにおける授業予定	子ども観と教育			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	PISAにおける日本の順位の変遷を通して、世界の教育及び日本の教育について考える。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	OECD学習到達度調査と新しい教育		
第7回	授業を通じての到達目標	日本の義務教育の指針である学習指導要領の変遷を踏まえ、これからの日本の教育について学ぶ。	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	これからの日本の教育について		
第8回	授業を通じての到達目標	日本の子ども達のお稽古事について、詳しく分析し、教育についての学びを深める	視聴覚教材・資料	前回の講義ノート・資料を見て復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	早期教育・お稽古事について		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			